

2017年度事業報告

(2017年4月～2018年3月)

2017年度は、公益財団法人へ移行後6年目となる。
当該期間内に実施した事業活動は以下の通り。

1. 【外国人留学助成 (KMMFスカラシップ)】

89,355千円

外国人留学生の受け入れに優れた11大学を選考し、各校2名/年の外国人留学生助成を行う

対象校: 2014年度開始の8校 (東北大学、国際大学(IUJ)、筑波大学、東京大学、同志社大学
奈良先端科学技術大学院大学、大阪大学、九州大学)

2016年度追加の3校 (北海道大学、京都大学、立命館大学)

10月11日(水)～11月2日(木)

・大学巡回訪問

2017年度認定奨学生との面談及びルール説明

国籍: 中国(5名)、インドネシア(3名)、フィリピン、ネパール、台湾、韓国、タイ(各2名)

マレーシア、ベトナム、アフガニスタン、モロッコ 計22名

担当教官と大学事務局へのご挨拶

2016年度奨学生との交流

11月18日(土)～19日(日)

・KMMFスカラシップ理念研修会実施 @金沢

目的: KMMFスタッフ&奨学生同士の交流、懇親

財団理念の理解深耕、日本文化理解、体験

参加: 2016&17年度 認定奨学生 43名

内容: 認定式

グループディスカッション

東茶屋町散策、兼六園、21世紀美術館見学、加賀八幡起上り絵付け体験

18年3月 3日(土)～ 4日(日) 東地区@東京

18年3月24日(土)～25日(日) 西地区@大阪

・KMMFスカラシップ エリアミーティング

個人面談、奨学生交流会

9月5日(火)～6日(水)

・2015年度奨学生(第二期生)終了式 @大阪

理事長懇談会

成果発表と相互質疑応答

2.【日本人留学助成（松下幸之助国際スカラシップ）】

57,214千円

■アジア、アフリカ、ラテンアメリカ地域への留学助成（20年目）

9月 1日（金） スカラシップ第1次選考委員会（書類審査） @京都
応募者33名から24名選考

9月12日（火） スカラシップ第2次選考委員会（面接審査） @京都
認定候補者19名決定

2月23日（金） 「松下幸之助国際スカラシップ」認定式
（於：リーガロイヤルホテル大阪）
・認定確定者19名に認定証・授与とパナソニックエコテクノロジー訪問

・本年度の認定者：19名（学部生2名、大学院生17名）

東アジア : 韓国(1名)、中国(1名)
東南アジア : インドネシア(1名)、ラオス(1名)、タイ(1名)、ベトナム(1名)
南アジア : インド(1名)、ネパール(1名)
西アジア : トルコ(4名)、イスラエル(2名)、イラン(1名)
アフリカ : 南アフリカ(1名)
ラテンアメリカ : ペルー(2名)、キューバ(1名)

・累計助成者数：231名
（留学先：50か国・地域）

■松下幸之助国際スカラシップフォーラム

10月7日（土） 第13回松下幸之助国際スカラシップフォーラム開催
テーマ 『「越えた」先で出会うもの』

「成果報告」

松下幸之助国際スカラシップ終了生 大学院生・教員 7名
（韓国、イラン、モロッコ、ボリビア、インド、ルワンダ、ブラジル）

- ・参加人数：約100名
- ・共催：フォーラム委員会
（委員長：水口拓寿氏 武蔵大学人文学部教授 2000年度奨学生）
松下幸之助記念財団
- ・後援：外務省

12月下旬 松下幸之助国際スカラシップ留学終了者、
新規7名のブックレット出版（出版累計：62冊）

3.【研究助成】

30,636千円

■人文・社会科学分野の研究を行う博士後期課程在籍者及び博士後期課程終了後5年以内の研究者への助成 (29年目)

5月29日(月)～7月10日(月) 書類選考
7月25日(火) 選考委員会 (於:ホテルグランヴィア京都)

応募総数 209件、合格者数 56件、助成件数 56件

	日本人	外国人	合計
応募件数	142 (68%)	67 (32%)	209
助成件数	49 (88%)	7 (12%)	56

※外国人:中国、韓国、インドネシア、インド

1989年～2018年

累計助成者数: 1,935件

■松下正治記念学術賞 (出版助成)

応募資格:「松下幸之助国際スカラシップ」終了生、及び「研究助成」受給者
応募者数:8名(スカラシップ奨学生4名、研究助成受給者4名)

6月2日(金) 第1次選考委員会 @東京

7月～9月 応募全数を選考委員及び外部査読者にて評価

10月4日(水) 最終選考委員会 @東京

選考結果

菅原 健志氏 (2010年度研究助成受給者)
日本学術振興会特別研究員PD
論文テーマ:A Matter of Imperial Defence

田中 有紀氏 (2007年度スカラシップ奨学生)
立正大学経済学部 准教授
論文テーマ:中国の音楽思想

8月10日 2016年度受賞者 森 万佑子氏
著書『朝鮮外交の近代』 出版
- 宗族関係から大韓帝国へ -

4. 【国際交流助成】

9, 198千円

■トルコ チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学日本語教育学科学生の日本研修を助成（21年目）

・本年度は学生6名が研修に参加（累計助成者数115名）

- 7月25日～7月27日 東京都内散策（浅草・秋葉原・新宿等）、日本文化体験（茶道・書道）
パナソニックセンター東京見学、東京大学訪問
- 7月28日 鎌倉市内見学、松下政経塾訪問（塾内見学、塾生との交流会）
- 7月29日～7月30日 広島市内見学（宮島・原爆ドーム等）、チャナッカレ会歓迎会
- 7月31日～8月 1日 神戸市内・姫路城・明石海峡大橋等見学
パナソニックエコテクノロジーセンター訪問
- 8月 2日 財団訪問、理事長懇談会参加
奈良市内見学（春日大社・東大寺等）
- 8月 3日 京都市内見学（金閣寺・伏見稲荷大社等）
- 8月 4日～8月 5日 ホームステイ（大阪府内）

■ベトナム ハノイ大学日本語学部学生の日本研修を助成（3年目）

・本年度は学生5名が研修に参加（累計助成者数19名）

- 6月18日 大阪市内見学
- 6月19日 財団訪問、理事長懇談会参加
京都市内見学（金閣寺・伏見稲荷大社）
- 6月20日 パナソニックエコテクノロジーセンター訪問
- 6月21日 広島市内見学（平和記念資料館・原爆ドーム）
- 6月22日～6月23日 沖縄訪問（首里城・ひめゆりの塔等）
- 6月24日 福岡市内見学
- 6月25日 長崎市内見学（原爆資料館）
- 6月26日 聖徳大学訪問・交流会
- 6月27日 パナソニックセンター東京訪問、都内見学

■ミャンマー ヤンゴン外国語大学日本語学科学生の日本研修を助成（初年度）

・本年度は学生6名が研修に参加

- 2月19日 大阪市内見学（大阪城・道頓堀等）
- 2月20日 財団訪問、理事長懇談会参加
京都市内見学（金閣寺・伏見稲荷大社）
- 2月21日 パナソニックエコテクノロジーセンター訪問
- 2月22日 大阪大学訪問
- 2月23日 東京外国語大学訪問・交流会
- 2月24日 東京都内見学（浅草・スカイツリー・原宿等）

5.【自然と人間との共生のための事業(松下幸之助花の万博記念賞)】

16,672千円

「国際花と緑の博覧会」の基本理念の実現に貢献し、その目的にかなう学術的研究、およびその実践においてすぐれた成果をあげた個人、またはグループを「松下幸之助花の万博記念賞」で顕彰する事業

1) 受賞候補者の推薦依頼 (2017年6月)

推薦人263名に推薦依頼

2) 候補者の推薦締切り (2017年8月)

松下幸之助記念賞	13件	
松下幸之助記念奨励賞	17件	
松下正治記念賞	15件	
選考対象 合計	45件	(※ 昨年度推薦分を含む)

3) 選考委員会 (於:千里阪急ホテル)

第1回 5月24日(水) 推薦人の見直し・確認
9月1日(金)~26日(火) 書類選考
第2回 9月27日(水) 第一次選考(候補者絞込み)
9月28日(木)~10月27日(金) 最終候補者詳細調査
第3回(最終) 10月28日(土) 最終選考

選考結果は下記の通り。

(敬称略)

松下幸之助記念賞 角野 康郎氏 神戸大学大学院理学研究科 教授
(300万円) 生態学および系統分類学的研究により、日本の水生植物についての体系的な知識を構築したのみならず、その著作や研究活動を通じて一般社会への保全生態学の普及に大きな貢献をした功績

松下幸之助記念奨励賞 仁田坂 英二氏 九州大学大学院理学研究院 講師
(150万円) 変化朝顔の体系的な保存と維持に尽くされ、展示会・講演会また著作を通してその普及に勤めてこられたばかりでなく、変異の原因遺伝子を分子遺伝学的に解析し、朝顔の科学的理解にも大きく貢献した功績

松下正治記念賞 森 和男氏 植物自由業
(200万円) 世界各地の野生直物を探訪調査し、日本の気候風土に適した高山植物の独自の栽培方法を開拓するとともに、その成果を多数の著書や講演を通じて一般に普及し、植物文化の発展に大きく貢献した功績

4) 贈呈式・講演会 (2018年2月3日)

リーガロイヤルホテル大阪「山楽」の間において開催し、約380名が参加。

* 贈呈式

松下理事長から各受賞者に表彰状、クリスタル楯、目録及び花束を贈呈した。

* 講演会

今回の受賞者3名の方々が講演を行った。

① 角野 康郎氏

テーマ:水辺の生きる植物たち

② 仁田坂 英二氏

テーマ:アサガオの変化に魅せられて

③ 森 和男氏

テーマ:高山植物の栽培と保全

6. 【「自然と人間との共生」理念の普及】

2,001千円

人間が自然を尊び調和しながら生きる社会を実現する理念の普及活動及びその関連事業に対する助成

理念に合致した活動を推進する団体に寄付を実施

①認定NPO法人 アースウォッチ・ジャパン (寄付金額 200万円)

環境問題について実証的な研究活動を行っている研究者の
野外調査の現場に、一般市民を環境ボランティアとして派遣する団体

『松下幸之助記念財団 教員フェローシップ』

学校教員や科学館スタッフ等、子供たちの教育に携わる方々に
最前線の科学的調査に参加していただき、自らの体験を授業の中で子供たちに伝達

- ・東日本グリーン復興・干潟調査
- ・ニホンイシガメ保全調査
- ・沖縄のサンゴ礁調査
- ・気仙沼舞根湾生態調査、等

理事会・評議員会等の開催

<理事会>

(1)第19回理事会

- ・開催日: 2017年5月18日(木) 於 リーガロイヤルホテル大阪
- ・出席者: 理事総数9名のうち9名、監事総数2名のうち2名が出席 オブザーバー:評議員(7名)
- ・議案: ①第1号議案「2016年度(平成28年度)事業報告案承認」の件
②第2号議案「2016年度(平成28年度)決算案承認」の件
③第3号議案「第11回(定時)評議員会招集」の件

- ・報告事項 職務執行の状況について

上記議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

(2)第20回理事会

<提案事項>

①開催方法

- ・決議の省略に基づく理事会の開催

②目的である事項

(議案)

- ・第1号議案「保有株式の議決権行使の承認」について

・提案書の発送=2017年6月7日

・理事会の決議があったものとみなされた日=2017年6月19日

上記議案について、議決権を有する理事の全員から書面により同意の意思表示を得た。
また、監事全員から、書面により異議がないことの意味表示を得た。

(3)第21回理事会

- ・開催日: 2018年3月6日(火) 於 リーガロイヤルホテル大阪
- ・出席者: 理事総数8名のうち8名、監事総数2名のうち1名が出席
- ・議案: ①第1号議案「2018年度(平成30年度)事業計画及び予算」の件
②第2号議案「各種選考委員選任」の件
③第3号議案「基本財産の配布割合変更」の件
④第4号議案「公益財団法人松下政経塾との合併基本方針」の件
⑤第5号議案「第12回評議員会招集」の件

- ・報告事項 ①職務執行の状況について

上記議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

<評議員会>

(1)第10回評議員会

- ・開催日: 2017年5月18日(木) 於 リーガロイヤルホテル大阪
- ・出席者: 評議員総数10名のうち7名、理事出席9名、監事出席2名
- ・議案: 評議員会議長の選任について
- ・報告事項: 「2017年度(平成29年度)事業計画及び予算」について

上記議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

(2)第11回評議員会

<提案事項>

①開催方法

- ・決議の省略に基づく評議員会の開催

②目的である事項

- ・第1号議案「2016年度(平成28年度)事業報告案承認」の件
- ・第2号議案「2016年度(平成28年度)決算案承認」の件

・提案書の発送=2017年5月18日

・評議員会の決議があったものとみなされた日=2017年6月7日

上記2議案について、議決権を有する評議員の全員から書面により同意の意思表示を得た。

附属明細書

平成29年度事業報告には「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。